

優秀賞 私たちの緑園

四年 石井渚音

私は、緑園の空間について調べました。調べたいと思ったきっかけは、私は昔から緑園に住んでいて、その緑園が、どんなふうに来たのか、昔と今ではどのような変化があるのかということがとても気になったからです。

緑園について調べるのに資料や、インターネットを使いました。調べて分かったことです。私は、緑園の人口や、緑園のモデルとなった場所について調べました。昔の緑園は、戸数四十六戸、二百人しか住んでいない小さな小さな村でした。しかし、今の緑園には二千十七年三月げんざい、一万四千九十四人も住んでいません。そして、緑園の町の高れい化と若い人の人数を調べた結果です。

高れい化が一番すすんでいるのが六丁目で、一番進んでいないのが五丁目でした。若い人が多かったのは、七丁目でした。緑園がある区、泉区に百才以上の人は、女の人が九十六人、男の人が十人でした。

次は、緑園のモデルとなった場所についてです。緑園のモデルになった場所は、アメリカのラドバーンという所です。ラドバーンは緑園と、とても雰囲気かっています。たとえば、緑園六丁目の四季の径のトンネルは、ラドバーンにあるトンネルと、とても似ていて、緑園のモデルとなったということがよく分かります。このことをきっかけに、緑園は外国との交流もさかんになってい

ます。

私は、この学習を通して、自分の知らない緑園のことをたくさん知りました。緑園の発でんで、今は、お祭りがたくさんひらかれたり、人がふえたりしてとてもにぎやかになっています。これは、すごくよいことだと思っています。今、私が不自由なく、くらせているのは、地いきの方々や、緑園を作ってくれた人のおかげだと思っています。私も次の世代として、緑園をもっとすてきな町にしていきたいと思います。

入選 昔から今の緑園になるまで

四年 山崎萌果

私たちは「緑園の昔と今」という学習をしています。私は「時間」のことについて調べました。地域の方からの資料などから調べていました。その資料を見ておどろいたことが二つあります。一つ目は十三年もの年月をかけて緑園のまちを作ったということです。昔は、「緑園」というまちでもなく山だったということもびっくりしました。二つ目は、家やお店がほとんどなかったということです。山から土地に工事しても、最初はぼったりぼったりと家があるほどで、人もあまりいなかったということが書いてありました。

私は、この二つのことを知ってとてもおどろきました。今の緑園のまちでは考えられないことがたくさんあります。きっと

今の緑園があるのも、工事をがんばってくれた人たちのおかげだ
と思います。今回の学習を通して、今の私たちは昔の人とくらべ
てすごく楽をしている気がします。きっと地域のボランティアな
どの方たちも、みんなにたくさん喜んでもらえるようにがんばっ
ていると思います。そんなやさしい方たちがたくさんいる緑園の
まちをもっと良いまちにするために、私達は、まちの行事に参加
したり、まちの人たちと協力したりして、緑園のまちをもっとに
ぎやかでみんなが安心してくらすことができるまちにしてい
きたいと思いました。これからは前よりもたくさん地域の行事など
に参加して、緑園をもっとすてきなまちにしていきたいです。

入選 緑園の発展

四年 古田康祐

ぼくは緑園の歴史について調べました。どうして調べたかとい
うと、今、緑園にはたくさん建物や駅がありますが、どうやっ
てそれらを作ったのか、いつ作ったかが不思議になったからです。
どうやって調べたかというデータ集や学援隊の菅野さんか
らもらった資料から調べました。

緑園都市はもと山と山の間の谷にありました。駅の近くには
家が少なく畑が広がっていました。今はお店などでかんたんに
食料がかくほできますが、昔は自分で野菜を育て自給自足の生活
をしなければいけません。そこで、このふべんな緑園を

発展させようとしたのはRCAや相鉄でした。RCAとは緑園
の自治会の人たちの事です。RCAは他に苗植えや子どもたち
の安全などを守っています。緑園自治会の初代会長のさいとうさ
んなどを中心に緑園は緑かがやく美しい町へと発展していきま
した。相鉄は線路を太くしたり、家を建てたり、駅のせつびを良
くしながら緑園を発展させていってくれました。

ぼくは昔から緑園をはってんさせていってくれた相鉄や
RCA、他の人々にかんしゃし、緑園に住みたいと思いました。
今の緑園は人口も多くなって発展しています。しかし、車も多く
なり、事故も多くなっています。でも今も、昔から緑園をたすけ
てきてくれたRCAや相鉄などと発展させていっています。

ぼくもこの緑園のルールを守り、ルールを守っていない人に注
意をしたり呼びかけをしたりしていきたいです。

入選 笑顔あふれる緑園のまち

四年 笹本帆華

私は、緑園のまちが大好きです。理由は、笑顔あふれるまちだ
からです。私が、笑顔があふれるまちだと思ふのには、二つ、理
由があります。

一つ目は地いきの人が、協力してくれているからです。いつも、
朝、いい山さんが、立ってくれていて、

おはようございます。いってらっしゃい。」と いてくれます。

あいさつをしてもらうと、うれしくなります。うれしくなると、自ぜんと、笑顔のなります。

二つ目は、子ども見守りプロジェクトなど、地いきの人の交流が、さかんだからです。子ども見守りプロジェクトでは、地いきの人が花の植え方を、分かりやすくおしえてくれました。きれいな花が咲いた時は、とてもうれしくて、笑顔になりました。

私は、地いきの人の協力があるからこそ、笑顔があふれるまちになっているんだと、思いました。私も、そんな人たちのようになりたいです。

入選 まちをピカピカに

四年 豊住凧生

みなさんが使っている公園にたまにごみがおちています。ごみをおとす人は、ごみがおちていてもいいと思う人たちです。ごみがおちていると、公園もおとした人の心もよごれていきます。そこで、公園も心もよごれない方法を二つ考えました。一つ目はごみが出たら持ちかえることです。ごみがおちている理由は、ごみをもちかえることを、めんどろに思う人たちが公園にごみをすてているからです。二つ目は、ごみをすてる人たちのためにポスターを作ることです。ごみをおとす人たちは、わるいことだと気づいていないかもしれせん。そこでわるいことだと気づいてもらえらるるようにポスターを作るのがいいと思います。

わたしが考えたことをやっても、まだごみは、ゼロにとどかないかもしれせん。でも、公園も心もよごれないまちを作りたいです。